

せんだい ねんぴょう ねんぴょう  
仙台のさいがい年表・ふっこう年表

年	種別	できごと *Mはマグニチュード
平安 869年(貞観11)	地震	大地震(三陸沖)。津波でおよそ1,000人がなくなる。
1611年(慶長16)	地震	大地震(三陸沖, M8.3)。津波で1,783人がなくなる。「浪分神社」などの地名に言いつたえがのこる。
1616年(元和2)	地震	大地震(宮城県沖, M7.0)で、仙台城のやぐらや、石がきがくずれる。
1623年(元和9)	噴火	蔵王山噴火。伊達政宗の子が、噴火をしずめるために山に登っている。
1678年(延宝6)	地震	大地震(宮城県沖, M7.5)で、東照宮などがこわれる。
1717年(享保2)	地震	大地震(宮城県沖, M7.5)で、仙台城の石がきがくずれる。
1721年(享保6)	水害	大雨のため、市内西か所の橋がおちる。
1747年(延享4)	水害	大風と大雨で、瀨橋と中瀬橋がながさされる。
1793年(寛政5)	地震	大地震(三陸沖, M8.0~8.4)。蒲生地区を津波がおそったと言いつたえがある。
1812年(文化9)	水害	仙台大洪水。116人がなくなる。
1835年(天保6)	地震	大地震(宮城県沖, M7.0)。仙台城の石がきがくずれる。
	水害	大雨大洪水。大橋おちる。2,416戸の家がながさされる。
1855年(安政2)	地震	大地震(宮城県沖, M7.0~M7.5)。
1861年(文久1)	地震	大地震(宮城県沖, M7.4)。
1889年(明治22)	水害	大洪水。根白石村で大きなひがひ。
1896年(明治29)	地震	大地震(三陸沖, M8.2)。蒲生にも津波が来る。
1897年(明治30)	地震	大地震(宮城県沖, M7.4)。
1910年(明治43)	水害	台風の大雨で市内1,300戸の家が水につかる。
1923年(大正12)	地震	関東大震災がおこる。この後、ひなんした人のために、家が作られる。
1933年(昭和8)	地震	昭和三陸地震(三陸沖, M8.1)。
1936年(昭和11)	地震	大地震(宮城県沖, M7.4~7.7)。
1947年(昭和22)	水害	カスリン台風。県内およそ30,000戸にひがひが出る。
1948年(昭和23)	水害	アイオン台風。市内およそ3,000戸にひがひが出る。
1950年(昭和25)	水害	台風による大洪水でていぼうがこわれる。
1978年(昭和53)	地震	宮城県沖地震(M7.4)。県内で27人がなくなる。
1986年(昭和61)	水害	台風10号の大雨(8.5豪雨)。
2003年(平成15)	地震	大地震(宮城県沖, M7.1)。
2005年(平成17)	地震	大地震(宮城県沖, M7.0)。
平成 2011年(平成23)	地震	3月11日、午後2時46分、東北地方太平洋沖地震がおきる(M9.0)。津波で大きなひがひが出る。 福島第一原子力発電所でばくはつじがおきる 4月7日、大きな余震がおきる(宮城県沖, M7.2)。
2015年(平成27)	水害	9月 関東・東北豪雨 台風18号。県内でおおよそ1,800戸にひがひが出る。

たし  
ふっこうのあゆみを確かめよう

2011年(平成23)	3月18日	電力 一部地いきをのぞきもとどおりになる。
	4月13日	仙台空港 ひ行きのはっちゃくが一部さいかいする。
	4月16日	と市ガス 一部地いきをのぞきもとどおりになる。
	4月18日	市えいバス 一部地いきをのぞきもとどおりになる。
	4月29日	地下鉄が、全線でうごきははじめ、もとどおりになる。 東北新幹線が全線でふっきゆうする。
4月中旬~下旬		市内小中学校 平成23年度 しぎょう式・入学式 かんいきゆう食(パン・牛にゆうのみ)がはじまる。
	5月	小中学校で「ふるさとふっこうプロジェクト」がはじまる。 (学区内のせいそう、あいさつうんどうなど)
	7月	市内小中学校の子どもたちによる「ふるさとふっこうサミット」 がはじまる。(だいひょうの子どもたちで、とりくみを話し合う)
	7月31日	全部のひなんじよがとじられる。
	8月	仙台七夕まつりへさんかする。(おりづるの七夕かざりを作る)
	11月	かく学校でおうえんのはたをつくってかざったり、ふっこうプロジェクトのセレモニーをしたりする。 次の年からは小中・地いきがれんけいした、とく色のある活動を行う。
2013年(平成25)	7月	ふっこうソング発表 小学校「希望の道」 中学校「仲間とともに」
2015年(平成27)	12月	地下鉄東西線開通(八木山動物公園駅~荒井駅)
2016年(平成28)	3月	中野小学校へい校、荒浜小学校とう谷(七郷小学校へ)